

開講科目名 / Course	教育制度論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	今井 航	
担当教員名 / Instructor	今井 航	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	第1に、世界主要国における教育制度改革の動向を取り上げたり、受講学生自らが過ごしてきた学校が制度上どう位置づけられるのかを問うたりすることにより、教育制度への関心を高める。第2に、職務内容や守るべき義務、免許制度、研修制度を取り上げることにより、教職員に関する制度の特徴を捉える。第3に、教育委員会の制度の移り変わり、教員評価の制度、学校支援の制度を取り上げることにより、教員はそうしたことにどう応じればよいのかを考える。	
到達目標	1. 教育に関する制度について、関連法規や答申などを踏まえながら理解したことを、説明する。 2. 受講学生が将来教員として学校や学級を運営する際に、教育に関する制度を踏まえた上での発想や計画・実施・評価ができるようになるための基礎力を形成する。	
DPとの対応	2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、4.より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	01. 教育制度の基本と改革動向1 日本の教育制度を支える基本原理 02. 教育制度の基本と改革動向2 世界主要国における教育制度改革動向 03. 学校の制度1 学校の定義と種類、学校の設置者 04. 学校の制度2 学校の起源と学校系統、学校制度改革の論点 05. 教職員の制度 教職員の職務内容と守るべき義務 06. 教員養成の制度 教員免許制度改革の近年的動向に焦点を当てて 07. 教員研修の制度 「学び続ける教員」を支えるしくみ 08. 教育委員会の制度 その現状と改革の方向性 09. 教員評価の制度 評価システムを通して見えるもの 10. 学校関係者による学校支援の制度 「地域とともにある学校」への協働に向けて	
その他の授業の工夫	ハンドアウトにより最新教育事情に関する話題提供を行う。受講者が話し合う機会を提供する。	
時間外学修	授業計画に基づき事前にテキストを読んでくる。	
評価方法と評価割合	試験結果（学期末試験100%）。授業で扱った内容に基づき、到達目標及びテーマを踏まえながら作成された各問に、正確に答えられるかどうか。語句による記述式や記号選択式の問題により問う。 なお、受講態度についても評価の対象とする。	
テキスト	・新・教育制度論 教育制度を考える15の論点（ミネルヴァ書房） ・講義レジュメ・資料	
参考書	「第3章 現在の学校教育制度」新版 はじめて学ぶ教育の原理（学文社）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		